＜福島県教育長賞＞

私と消費税の出会い

須賀川市立第二中学校　１年　遠藤　鈴花

私は、８月 17 日に母とペットショップへ行きました。ペットのえさをどうしようかと悩んでいた所、ふと私の目にある言葉が飛びこんできました。「税込」という文字が、赤で大きく書かれた数字の下に、ぽつんと置かれていたのです。さらに、「税込」のとなりには元値より少し高くなった値段が書かれていました。「税込とはなんだろう」と思い、ネットで調べたことが、私と消費税の出会いでした。実は、「消費税」という言葉に会うのは、初めてではありません。ニュースで高市早苗首相が「消費税減税」で批判されているのを見ました。当時は「自分には関係ない」と思っていましたが、そんなことはありませんでした。

いざ、消費税を調べようとすると、難しい言葉がたくさん出てきて、すごくビックリしました。

まず、消費税について簡単に調べてみました。「消費税は、商品の販売やサービスの提供に対してかかる税金です。」と書かれていました。そこで、私は１つ疑問が浮かびました。「なぜ、消費税があるのか」この疑問の答えは、少子高齢化問題に関係がありました。

消費税の一番の目的は、少子高齢化に伴い増大する年金・医療・介護・子育てといった社会保障の財源を安定して確保することなのです。私は消費税の目的を知り、とてもしょうげきを受けました。自分には関係ないと思っていたことが、全て生活に関係していたのです。税金は、私達の生活を支えてくれている、大切

なお金だったのです。

私は、この作文を書いて、もっといろいろな税金を調べたいな、と思いました。消費税を調べたとき、「所得税」や、「法人税」、「住民税」など、他にもたくさんの税金があることを知りました。一つのことを調べようとしたら、たくさんの新しいことに出会えました。もっと、税金に興味がわいてきました。そして、たくさんの税金を調べた後、正しい知識を持って納める・参加する・大切にするなど、よりよい社会にするため、こうけんしていきたいと思います。

私みたいに、身近な物に目をつけて、一つでもいいから調べてみましょう。それで意外だったことや、きになると思ったことを見つけてみましょう。そうしたら、自然と社会に興味をもって、「この社会を良くしたい」と思うはずです。そのような思考をもつ人が増えてほしいですね。